

ゆっくら通信

社会福祉法人ゆっくら
〒301-0834
茨城県龍ケ崎市古城 3204
電話番号 0297-85-4301
<http://yukkora.jp/>



～ 役員等が変更になりました ～

理事 安井幸代

2023年5月27日の評議員会を経て法人の理事・監事の任期が満了となりました。それを以て、杉江理事長、糸賀理事、水挽理事、会計監査を担当していただいた牛腸監事の4名が退任されました。杉江理事長と糸賀理事は、法人設立当初からご尽力いただきゆっくらの礎を作っていただいた方々の中のお二人です。水挽理事には法人の元職員である外部理事として、牛腸監事には経営面からの視点で法人運営にご意見をいただきました。皆様方のお力添えがあって今日の『社会福祉法人ゆっくら』があると、深く感謝いたしております。

今後も変わらず見守っていただきますことを切にお願い申し上げます。ありがとうございました。同日、役員等の改選が行われました。新体制は次の通りです。どうぞよろしくお願いいたします。

理事長 吉田 満輝
理事 井上 梨紗 (新任)
〃 大林 さおり (新任)
〃 川道 奈央子 (新任)
〃 松橋 和枝 (再任)
〃 安井 幸代 (再任)

監事 塚田 良夫 (再任)
〃 山口 忠司 (新任)
〃 渡辺 正春 (再任)

第三者委員 渡辺 正春
〃 山本 光明
〃 杉江 彰



～ 皆さんと作る暮らし ～

グループホーム 古城の家
松永 祥季

現在、古城の家では12名のメンバーさんが共同生活を送られています。僕は今年の4月より花農場から古城の家に異動する形で（当面は花農場との兼務となりますが。）仕事をさせて頂いています。

午前中に花農場で仕事をした後、古城の家に迎いますと、その日に花農場やゆうあいでは仕事をされていたメンバーさんがソファでゆっくりとテレビを見られていたり、これから入浴しますという方もいます。勿論、他法人の日中活動に参加をされているメンバーさんもいて、そういった方と知り合えたのも古城の家に異動して良かったことかなと考えています。

共同生活となりますので、トイレなどの共有スペースの掃除やゴミ捨てなどは週ごとに担当のメンバーさんが行っています。互いに役割分担をされながら協力して生活をされています。

そういった古城での暮らしを見ますと、私事とはなりますが小学生の頃に自分がお世話になっていました寮での暮らしを思い出します。熊本と千葉の二ヶ所を利用して、同じ学校の友達と生活をしていました。寮での暮らしは、やはり掃除の時間などの決まり事があり大変なこともありましたが、常に身近に人がいて会話をしながら過ごす環境というのも良い思い出になったと感じます。

また自分達の住む部屋を担当して下さる寮母さんにもいっちゃって、色々面倒をみて頂いたことは今も感謝をしています。話を戻しますと、僕はグループホームでの勤務が今回で初めてとなります。

自分でも色々力不足な点があるのを感じますが、先輩方が作ってこられた古城の家の雰囲気や大事にしながら、メンバーさんの生活のお手伝いをしたいと思っています。



～ 雪印メグミルク
野田工場見学に行きました♪ ～

地域活動支援センター ふれんず
白石 佳代



コロナも5類に引き下げられ徐々に元の生活に戻りつつある中で、利用者さんの意見もありふれんずでは工場見学に行き、学んできました。

初めて工場見学をして、機会が運
搬をしていて凄かった。

M・Y



工場内で等身大の牛乳パックがあ
り、驚いた。

M・M

工場見学内で、楽しんで学べる工
夫が沢山あった。

I・M。



丁寧な説明で普段見学でき
ない場所も見学でき貴重な
体験となった。

I・N



楽しかった。

I・T



どれだけの厳しい検査を受けて製品が
出来ているのと感じた。

T・K

牛乳パックに牛乳を入れるところを始め
てみたので新鮮で驚きがあった。

F・T



～ 花農場に通って、丸6年 ～

地就労支援 B 型花農場

D・Hさん

僕は花農場に通って丸6年になる。

今は、7年目に入った。

僕にとって、6年同じ場所に通うのは、小学生以来だ。

今まで、いくつか仕事をしてきたが、長くて4年弱。

最初に就職した会社も4年弱で辞めた。

その時は、壮絶なやめ方だった。

退職すると同時に精神科に入院するというやめ方だった。

限界だった。そこから、長い病気との付き合いが始まった。

その後もしばらくは、薬を飲みながら、一般就労していた。

その時は、一緒に働いている同僚に、自分が薬を飲みながら働いているということを一切言わなかった。薬を飲みながらの一般就労は、今思えばよく頑張ったと、自分でも思う。だけど、結局限界がきてしまった。無理がたたって入院して、会社も辞めた。薬も増えた。その後は、しばらく廃人のような期間もあった。そんな時、病院のデイケアに通ってみたらどうかと誘われて、しばらく通っていた。そこで似たような境遇の人に出会って、自分だけじゃないんだと思った。中には作業所に通って、たまにデイケアに来る人もいた。デイケアに通って、生活のリズムも整ってきた頃、自分も作業所に通ってみようかなと思い、花農場のお世話になることになった。今、丸6年が過ぎ、花農場が僕にとって、安心できる場所になった。たまにデイケアも行くが、そこも自分にとっては、安心できる場所だ。最近、職員さんがパソコンの仕事も増やしてくれた。昔やっていたたかっただ告作成や、名刺作成等の仕事もやっている。よく休んだりもしているが、職員さんは温かく受け入れてくれる。同僚も優しい。先の事はわからないが、なるべく自分が安心できる花農場や、デイケアに通ってみようと思う。



～ 小説 ～

地域活動支援センターゆうあいワークイン

六花さん



私は気まぐれらしい。好きなアニメを見て、好きなマンガを読んで、好きな本を読んで、好きなことを調べて。私はファンタジーが好きだ。星を調べ、神話を調べ、とにかく好きなことを満足するまで調べる。

そして、ふと思う。これを物語にしたいと。

花言葉、宝石言葉、人の名前も意味を持つ。これを合わせたらどうなるのだろう。

私は町の名前や国の名前を考えるのは苦手だ。あるマンガ家は実在の町の名前や車の名前を使うけど、私のストーリーには合わない。楽園を意味する言葉は、何かないだろうか。旧約聖書、ソロモン王が使われた言葉、オフィール…。これだ！

城の名前を考えよう。『輝く』がいい。フランス語なら『ルフレ』

よし題名は、『楽園に輝く一番星』にしよう。単純だろうか。けど、これしか思いつかない。

アイビーを書きたいけど上手くまとまらない。アイビーを助ける国を考えよう。しかし、アイビーが主人公だから、最初に少し石化させよう。この青年をアイビーの…。よし。設定が決まった。

1章がスピカで、2章がアイビー。いや、2章は敵側を書こう。3章で完結だ。2章を入れることで青年とアイビーの謎も生まれるだろう。

これは、私の最高傑作になるだろう。

時間がかかっても、頭の中はすべてストーリーが出来てる。



雑草

H.S

雑草は、嵐がきても、たとえ、日差しが届かなくても、弱々しくても、花を咲かす。

弱い私は、そんな強い雑草を、たくましく思うと同時に、素晴らしく思う。何があってもめげず、何があっても生き抜き、何があっても、生命をつなぐ。

私はこの先、良いことがあるかもしれない。だが、悪いこともあるはずだ。そんな時私は、「自分に勝つことが出来るだろうか?」、「雑草のように強く生きられるだろうか?」と考える時がある。自分に打ち勝ちたいと、切実に思っ止まない。

【生命】

野草は踏まれても 青やかに伸びる
枯れそうな花は 誰かの手で生きる



事業所名	電話番号	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城 3204 2F
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町 2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町 2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城 3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋 2147-1
ふれんず(きらく山)	0297-58-0466	〒300-2312 つくばみらい市神生 530 きらくやま内
ふれんず(板橋マリーナ)		〒300-2307 つくばみらい市板橋 2147-4
ボランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋 2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋 2147-1
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部 4701-2